

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	教育原理	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	姜 華		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
必要とされる、教育の意義や目的、方法及び教育制度（日本を含む諸外国）に関する基礎知識を中心に学ぶとともに、教育を取り巻く社会的諸事項についても理解するなど、教育にたずさわる専門職のための教育についての基本的な考え方を養うことができるようになる。すなわち、幅広い知識と教養を身につけるほか、社会性や豊かな人間性を持つ専門性を有する教育者を育てることができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
教育の意義や目的、方法、およびそれらを支える教育制度などの基礎的な知識について説明する。毎回ある特定の課題をもって学生同士のディスカッションを通じたコミュニケーションを図る。さらには、これらの基礎知識を理解した上で、教育・保育に関する専門性を有する立場に立脚し、複雑化・多様化などを背景とする教育をめぐる諸問題について客観的・独自の視点から考察を深めることができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	講義を中心にしながら、受講者同士のグループディスカッションも重視する授業形態を取り入れる。まずは、個人単位でレビュシートを書かせる手法で、受講者一人ひとりの考え・意見の伝え方やコメント力を身に付けさせる。さらには、グループディスカッションを活用することで、いかに分かりやすく他者に自分の意見や考えを伝えるか。そのためには、様々な工夫を凝らすことも必要であることを意識させるための授業を展開する。したがって、教育者・保育士として最も必要とされる高度なコミュニケーション能力を獲得することを目指した授業を進める。				
注意点	個人としての学習態度を重視するほか、グループディスカッションをも重視する。理由のない遅刻や無断欠席は認めない。授業への参加意欲や態度などを踏まえ、総合的に評価するため、毎回の授業に参加することが重要です。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	30%	毎回の授業参加意欲や授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	教育の意味・目的		教育がもつ意味について理解し、学校教育の目的についての歴史的変遷について学ぶ		
2回	教育制度		公教育制度について理解し、日本の現行の学校制度の特徴や諸外国の教育制度について概観する		
3回	教育法規		教育法規のうち教育の基本理念などを定めた法規、学校教育に関する法規等について学ぶ		
4回	教育課程		教育課程の意義や構造を確認し、教育課程の編成基準である学習指導要領について学ぶ		
5回	教育の方法		教授理論の歴史、教育方法の基本理念、教育方法の類型及びその特徴について検討する		
6回	教育行政		教育行政の基本的な考え方と役割について理解し、国と地方の教育行政機関の組織等について理解する		
7回	教育評価		教育評価の種類、およびそれぞれの特徴について理解する		
8回	教員		学校教育における教員の役割について理解し、今日の教育の在り方をめぐる問題について検討する		
9回	教育の思想と展開		近代の教育思想家による教授理念の特徴を分析し、教育に与えた影響力について検討する		
10回	生徒指導とキャリア教育		生徒指導の目的・意義について理解し、生徒指導の一環としてのキャリア教育について理解する		
11回	学校の社会的基盤と教育連携		各種学校間の連携、家庭及び地域社会との連携について理解する		
12回	幼小連携		異校種間の連携による教育の実態について理解する		
13回	教育のカレント・トピックス①		教育をめぐる今日的な課題について多様な視点から考察する力を養う		
14回	教育のカレント・トピックス②		教育をめぐる今日的な課題について多様な視点から考察する力を養う		
15回	まとめ		全体のまとめ		